

「中国・アジア」ダイジェスト

2015.02.23-03.06

※記事は東京発行・最終版

CHINA

2月23日(月)

大豊工業、軸受材40%増産
月700ト/常州恒業に国内と同ライン

大豊工業は、中国で自動車エンジン用すべり軸受の材料「バイメタル」を増産する。月産40%増の700トに。買取した常州恒業軸瓦材料に国内と同様の一貫生産向け自動ラインを整備する。(9面)

テスラ、中国責任者が辞職

販売不振

米テスラ・モーターズ副総裁兼中華圏最高マーケティング責任者の金俊氏が辞職した。中国の販売不振。1月は約120台、予想を大幅に下回った。中国紙・毎日経済新聞が報じた。(9面)

フォード、新型SUV来年投入
総投資額12億1200万円

米フォード・モーターが出資する中国商用車メーカー、江鈴汽車が独自に開発したSUV「N330(開発名)」を生産する。総投資額は12億1200万円で、2016年下期に市場投入。(9面)

2月24日(火)

「フロント」、上海で出店攻勢
昼：カフェ/夜：バー

フロントコーポレーションは、上海で展開する「フロント」を35年間で現在1店舗から10店舗に増やす。昼はカフェ業態、夜はバー業態。シンガポールやマレーシアへの出店も視野に。(19面)

ASIA

2月23日(月)

デンソー、カンボジアに新工場
2輪・4輪部品/現地2工場目

デンソーは、カンボジアに2輪車と4輪車の部品の新工場を建設する。2016年3月稼働。投資額は約22億4000万円。カンボジアでは2工場目となる。2輪車用発電機を全量に工場に供給。(9面)

ミネベア、タイで増産

航空機向け軸受製品/35%

ミネベアは、タイで航空機向け軸受製品「ロッドエンド」の生産能力を2016年に35%程度引き上げる。スマートフォン用LEDバックライトの生産拠点新設でできた場所に加工機械を導入。(10面)

金融向けシステム、東南ア開拓
日立システムズ

日立システムズは、金融業向けシステム「フィノバ」の海外での販売を強化する。日本企業の海外拠点を中心だったが、東南アジアの発展で、主要国の現地金融業へ拡張し顧客を開拓。(13面)

2月24日(火)

韓国ルーメンズが日本法人
LED/照明・車向け

韓国LEDデバイス大手ルーメンズは、日本法人を設立した。低価格を実現し、放熱性能を高めて熟劣化を軽減し長寿命にした技術を持つ。施設照明や自動車向け、ディスプレイ向け。(11面)

三菱マテ、ラオス工場が完成

温度センサー月300万個/中国好調

三菱マテリアは、ラオスの工場が完成した。温度変化を検知するためのセンサー「サーミスタセンサー」を月300万個。中国でエアコンや冷蔵庫など白物家電向けに販売が好調。(17面)

台湾の発泡樹脂成形工場が稼働

積水化成/年1000ト

積水化成工業は、台湾・苗栗県に発泡樹脂の成形加工工場を稼働。年1000トの加工能力。自動車部品や家電梱包材向けに需要を見込む。米、中国、タイに次ぐ4カ国目の拠点。(17面)

西鉄、インドに新支店

ハイデラバード/IT・製薬が集積

西日本鉄道は、国際物流事業で、インド中央ハイデラバード市に現地法人の新支店を開設した。ITや製薬などが盛んな有数の都市。請求書や航空運送状、船荷証券などを発行。(18面)

2月25日(水)

タイ自動車産業に構造変化の波
東南ア国内産業育成に動く

日系メーカーが、高シェアのタイ自動車産業に構造変化の波。東南アジアでは各国がエコカー政策で国内産業育成に動く。非日系の本格進出も計画されており低価格競争が始まりそうだ。(5面)

タイ車生産19カ月ぶりプラス

1月16万6260台/輸出が好調

タイ工業連盟自動車産業部会は、1月

中華圏の旧正月「春節」休暇で日本を訪れた外国人客の爆買いが、流通業界に旋風を巻き起こした(2月25日付)



2月25日(水)

春節爆買い列島フィーバー

百貨店4倍/免税売上高

「春節」休暇で日本を訪れた外国人客の爆買いが、流通業界に旋風を巻き起こした。百貨店は軒並み免税売り上げが2014年に比べ34倍を記録。菓子や日用品・化粧品も春節フィーバー。(20面)

2月26日(木)

川重、中国で初受注

ストーカー炉方式ゴミ焼却施設

川崎重工業は、中国セメント大手コンチグループと、ゴミ焼却プラント「ストーカー炉」を中国で初受注した。安徽省金寨県からストーカー炉の設計と調達業務を受注。受注額は20億30億円。(1面)

3月2日(月)

タブレットで外国人案内

英・中国語など/大日本印刷

大日本印刷は、タブレット端末で外国人向けの多言語案内サービス。英語、中国語など5言語。ホテル、銀行、公共施設向けに提案する。外国人と担当者、通訳が端末の画面上で対面。(11面)

液晶パネル材、海外を強化

富士フイルム/上海を増員

富士フイルムは、海外で液晶パネル用材料を強化。液晶TVやスマートフォンの生産地・中国では上海市で担当を増員。タブレット端末企業が立地する米国では専任スタッフを配属。(12面)

3月3日(火)

トヨタ、中国新車18.6%増

2月6万1500台/出足好調

トヨタ自動車は、2月の中国の新車販売は前年同月比18.6%増の6万1500台。1、2月累計は13.6%増の15万6200台。2014年通年は12.5%増、市場全体の伸び(6.9%増)を上回った。(時事=5面)

華為、スマートウォッチ

アンドロイド・ウェア搭載

中国・華為技術は、腕時計型携帯端末(スマートウォッチ)を発表。文字盤部分は円形をしており、米グーグルのウェアラブル端末向けOS「アンドロイド・ウェア」を搭載。(時事=9面)

エーザイ、固形剤で新工場

年産2倍・50億錠/医薬品成長対応

エーザイは、江蘇省蘇州市に固形剤生産棟を新設し、年間生産能力を約2倍の50億錠に高める。中国における医療用医薬品市場の成長に対応。現行の蘇州工場は閉鎖する。(11面)

ハムロン・テック、上海に拠点

防水性能試験機

ハムロン・テックは、上海に気密性防水性能試験機などの販売子会社を設立する。売上高構成比で中国を中心とする海外が国内を逆転。中国市場の深耕には自社拠点が必要と判断。(23面)

3月4日(水)

マツダ、1-2月最多を更新

2月62.4%増/1万5991台

マツダは、2月の中国での新車販売が前年同月比62.4%増の1万5991台となった。1、2月の累計は7.7%増の4万529台で同期として過去最多。一汽車との合併ブランドが2.2%増。(時事=6面)

3月5日(木)

セイコー、岐阜工場を閉鎖

中国・タイに委託/置き・掛け時計

セイコーHD傘下で置き時計や掛け時計を生産するセイコークロックは、国内唯一の製造拠点である岐阜工場を閉鎖する。生産は今後、タイと中国の委託先工場に集約する。(6面)

3月6日(金)

住友重機、上海で組み立て

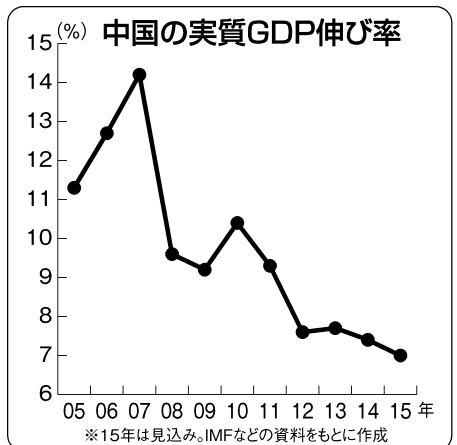
産口が精密減速機

住友重機械工業は、上海工場で産業用ロボット向け精密減速機の組み立てに乗り出す。名古屋製造所で手がける精密減速機の約2割を移管する。出荷までのリードタイムを12週間短縮。(1面)

中国、経済成長が鈍化

GDP7.0%成長/11年ぶり低水準

中国政府は、全国人民代表大会で2015年のGDP成長率目標を7.0%前後に設定した。過去3年間の7.5%前後から0.5%引き下げ11年ぶりの低い水準。高速成長から中高速成長にシフト。(2面)



今回は -
「中国・アジア ダイジェスト」面の
次回は23日(月)に掲載します。

G M、新車1.3%増26万1072台

2月/単月で最多更新

米GMは、2月の中国での新車販売が前年同月比1.3%増の26万1072台だった。2月では最多のセールス台数。上海GMは「シボレー」がプラスに転じて、2.4%増の11万2568台。(時事=5面)

スパイラルエスカレーター納入

三菱電機/上海新世界大丸百貨

三菱電機は、上海市の大型商業施設「上海新世界大丸百貨」に、らせん状に昇降するスパイラルエスカレーターを12台納入した。ほかにエレベーター15台、通常のエスカレーター24台。(10面)



スパイラルエスカレーター(三菱電機)

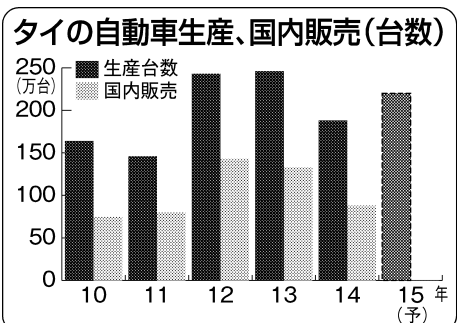
TELOP

ナプテスコ、完全子会社化

減速機用歯車生産(24日7面)

中国社納入の冷間圧延設備が稼働

英プライメタルズ(25日7面)



の自動車生産が前年同月比2.2%増の16万6260台になった。プラスは2013年6月以来19カ月ぶり。国内販売は不振が続くが、輸出が好調に拡大。(5面)

ベトナム新車販売1%減

特別消費税下げ見送りで伸び悩み

ベトナム自動車工業会は、1月の新車販売が前月比1%減の1万9979台だった。特別消費税の引き下げが見送られたことで、販売が伸び悩んだ。トップはトヨタ自動車で36%増。(5面)

長谷工、ベトナム進出

邦人向け賃貸集合住宅

長谷工コーポレーションは、ベトナム・ハノイ市で邦人向けサービスアパートメント(賃貸集合住宅)を始める。専門工事会社の確保や資材調達の体制を整える。アジアでの展開は初。(20面)

2月26日(木)

明電舎、資本提携を断念

ミャンマー変圧器大手

明電舎は、ミャンマーの変圧器大手アジア・セナル・エレクトリックとの間で、約2年前から交渉していた資本提携を断念した。市場が小さく、需要が拡大するには時間を要すると判断。(11面)

インドネシアに物流施設

西ジャワ工業団地/自動車向け

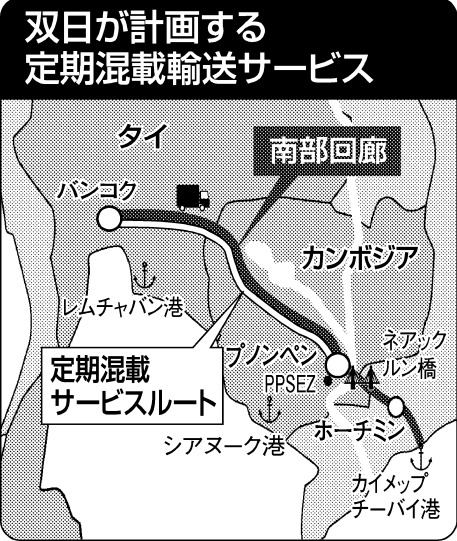
日通商事は、インドネシア・西ジャワ州に物流施設「カラウロジスティクス・サポートセンター」を設置する。ミトラカラウ工業団地内に建設。完成車や部品など自動車向け。(16面)

2月27日(金)

双日、部品を混載輸送

カンボジア タイ/南部回廊

双日は、カンボジア タイ間で小口貨物に対応した定期混載輸送を始める。中小企業を含めた部品メーカーを中心に提供。両国およびベトナムを結ぶ幹線道路「南部回廊」で陸送する。(1面)



インドにアルミホイール新工場

光生アルミ/年100万本

光生アルミニウム工業は、インドにアルミホイールの新工場を建設する。現地企業と合弁会社を設立。年産100万台体制。49億4500万円投資。スズキのインド子会社の増産要請に応える。(5面)

J F E エンジ、ミャンマー増産

橋梁工場/2倍年2万ト

J F E エンジニアリングは、ミャンマーの橋梁工場を増強する。生産能力を2倍の年産2万トに引き上げる。道路や鉄道向けの鋼構造物受注が好調で、同工場はフル生産が続く。(7面)

I H I、褐炭ガス化炉を実証

インドネシア

I H Iは、褐炭から合成ガスを製造する二塔式ガス化炉の受注に乗り出す。処理量は1日当たり5001000トを想定。このほどインドネシアで実証プラントを稼働した。(7面)



二塔式ガス化炉(IHI)

3月2日(月)

三菱自、インドネシア新工場

パジェロスポーツなど/年産16万台

三菱自動車は、インドネシアでの新工場建設にあたり、三菱商事、現地クラマコダと合弁会社を3月に設立する。2017年4月稼働。年産能力16万台。新型SUV「パジェロスポーツ」など。(6面)

インドネシア乗用車生産中止

G M、SUVに集中

米GMは、インドネシアで自社ブランドの乗用車生産を打ち切る方針。工場は閉鎖、約500人を解雇し、SUVの生産に集中する。約80年前、現地初の乗用車組立工場を建設。(時事=6面)

「V o L T E」米韓と通話成功

N T T ドコモ

N T T ドコモは、韓国K T、米、ベライズンと協力し、国内で初めて日本と韓国、日本と米、韓国で高音質の通話を可能とする技術「V o L T E」の国際ローミング接続の実証実験に成功。(11面)

王子、インドに段ボール会社

2輪・4輪/重量物包装用

王子HDは、インドで重量物包装用段ボール会社を4月に設立する。現地では2輪車増産や、完成車や部品の輸出が増加。重量物包装用段ボールや、箱・シートの旺盛な需要に対応。(12面)

シンガポールに新興国統括拠点

武田薬品/スイスから移管

武田薬品工業は、アジア太平洋を含む新興国の事業を統括する拠点をシンガポールに開設。スイスから移管。併せてワクチン事業やアジア研究開発センターも

同じオフィスに集約。(12面)

3月3日(火)

丸紅、タイで石炭火力更新

アジア最大級/2000億円

丸紅が、タイでアジア最大級の石炭火力発電所の設備更新工事を受注する見通し。仏アルストムと組んで、CO2削減も見込める「超々臨界圧型」に切り替え。受注額は1000億2000億円。(1面)

大同メタル、インドに新工場棟

エンジン用軸受/年3240万個

大同メタル工業は、インドで自動車エンジン用すべり軸受の年産能力を3240万個体制とする。現地合併に新工場棟を建設。2017年までに約15億円投資。インド向け軸受を現地生産に。(5面)

西島、インドネシア生産

省エネポンプ/年産1万台

西島製作所は、東南アジアで省エネルギー型ポンプ「エコポンプ」の製造・販売を始める。インドネシア工場に、1億円強を投じて同ポンプの組み立てラインを稼働。年産1万台。(8面)

蝶理、インドネシアで1万反

素材・縫製/一貫生産

蝶理は、インドネシアで素材から縫製まで一貫生産体制を構築する。月産1万反。現地で布生地を調達、染色工程も。A S E A Nでは合繊織物の縫製拠点が拡大、染色などを提案する。(13面)

3月4日(水)

シャープに出資 - 鴻海が意欲

交渉再開へ動く

経営再建中のシャープに、EMS世界最大手の台湾・鴻海精密工業が資本提携交渉再開の検討を始めた。2012年危機には、いち早く支援を表明したが、シャープ本体への出資交渉は頓挫。(1面)

ニッパツ、カンボジア新工場

車用シート縫製部品/タイ増産対応

ニッパツは、タイ子会社が自動車用シートの縫製部品の新工場をカンボジアのポイペトに設置する。タイでの自動車生産台数の増加が見込まれるため、シート構成部品の供給能力を高める。(6面)

チャンギ空港拡張280億円受注

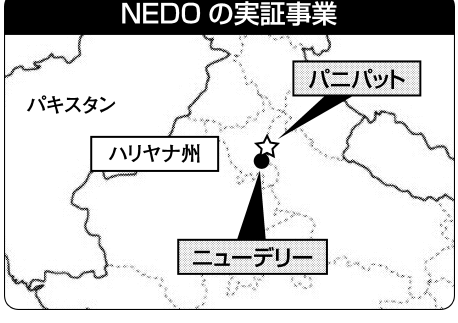
竹中/第1ターミナル

竹中工務店は、シンガポールのチャンギ国際空港第1ターミナル拡張工事を約280億円で受注した。同社は第1ターミナルを完成、3回にわたる増築・改修工事も担当した。(12面)

インドにスマコミ技術売り込め

N E D O /実証へ事前調査

N E D Oは、インド・ハリヤナ州でのスマートコミュニティ実証の事前調査に着手する。スマートメーターと日本の高度な配電運用で送電中の電力が途中で失われる配電ロスを改善。(12面)



インドネシア地下鉄の車両
(イメージ=日本車両)

インドネシア地下鉄96両受注

日本車両/130億円

日本車両製造は、インドネシアのMRジャカルタから地下鉄車両96両を受注した。住友商事と共同で約130億円。インドネシアが日本製の新造車両を輸入するのは約20年ぶり。(7面)

東南ア地場企業の投資ファンド

三菱商事など

三菱商事は、マレーシア大手銀行CIMBグループ、日本政策投資銀行と、A S E A Nの中堅企業向け投資ファンドを設立。運用残高は約156億円。インドネシアなどの地場企業向け。(19面)

デザイン・翻訳、フィリピン現法

ブリプレス・センター

ブリプレス・センターは、フィリピンに現地法人を設立した。印刷業を中心にデザイン、ウェブサイトの制作や翻訳なども手がける。フィリピンは公用語の一つが英語で人件費も安い。(25面)

3月5日(木)

日本語対応S Eを倍増

T M A ソリュー/オフショア開発

ベトナムIT企業・T M A ソリューションズは、日本語で対応できるS Eを500人規模に倍増する。日本語学習を導入する。日本企業からシステム開発を受託するオフショア開発体制を強化。(1面)

タイの新車販売9.8%増

今年95万台/個人消費伸び

2015年のタイの新車販売が前年比9.8%増の95万台に拡大するとの見通しをフロスト&サリバンがまとめた。インフラ投資や個人消費の伸び、政府による刺激策の成果が必要を促進と分析。(5面)

三菱日立P S、インド2基受注

超臨界圧ボイラ/出力66万kW

三菱日立パワーシステムズは、インド国営火力発電会社が新設するタング超臨界圧石炭火力発電機1、2号機向けに出力66万kWの超臨界圧ボイラ2基受注。インド向け受注累計は11基。(6面)

台湾に事業情報を提供へ

アリババ馬会会長

アリババ集団の馬雲会長は、台湾当局に事業内容に関する必要な情報を提供する意向。台湾当局は、投資関連の規則違反でアリババに6カ月以内に台湾から撤退するよう命じていた。(時事=8面)

フィリピン工場を増強

アーケレイ/糖尿病検査機器

アーケレイは、フィリピン工場を増強する。これまで体外診断用医薬品を生産していたが、新たに機器工場と物流棟を増設。日本、中国に並ぶ糖尿病検査機器の生産拠点。(10面)

マルカキカイ、タイ保守拡充

工作機械/シブヤ・マシナリーと提携

マルカキカイは、タイで工作機械の保守サービス拡充を狙い、シブヤ・マシナリーと提携した。予防を含む保守サービス需要が増大傾向。自前で行ってきたが、専門業者と組む。(7面)



タイでの工作機械の保守サービス
(マルカキカイ)

3月6日(金)

台湾自動車好調、今年42万台